ROBOT AWARD

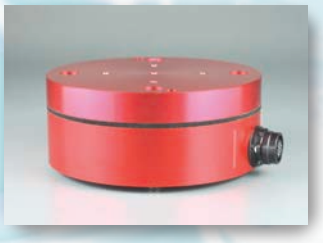
経済産業省　JMF 一般社団法人 日本機械工業連合会

「第7回 ロボット大賞」の募集を開始いたします!!

第7回より、**経済産業大臣賞**に加え、5つの新しい大臣賞
総務大臣賞 **文部科学大臣賞** **厚生労働大臣賞** **農林水産大臣賞** **国土交通大臣賞** を新設しました。

第6回 ロボット大賞 受賞ロボット紹介

第6回 ロボット大賞（経済産業大臣賞）
産業用ロボット部門
モジュール型高速多機能装着機 NXTⅢ
富士機械製造株式会社



最優秀中小・ベンチャー企業賞
（中小企業庁長官賞）
部品・ソフトウェア部門
静電容量型力覚センサ
「Dyn Pick®」
株式会社ワコーテック

日本機械工業連合会会長賞
産業用ロボット部門
全自動連続薄切装置
ティシュー・テック　スマートセクション
サクラファインテックジャパン株式会社／
平田機工株式会社

審査員特別賞
ロボットビジネス・社会実装部門
ロボット技術を応用した臨床リハビリテーション部門と研究開発部門を融合したロボットリハビリテーションセンター
兵庫県立リハビリテーション中央病院　ロボットリハビリテーションセンター
（導入者: 兵庫県／兵庫県社会福祉事業団）

●優秀賞

サービスロボット部門

狭小空間点検ロボット「moogle」
大和ハウス工業株式会社

手術支援ロボットiArmS®
株式会社デンソー／信州大学／東京女子医科大学／
株式会社デンソーウェーブ

排泄支援ロボット「ベッドサイド水洗トイレ」
TOTO株式会社／
関東学院大学 建築・環境学部 大塚雅之研究室

公共・特殊環境ロボット部門

原発対応の小型遠隔除染装置
「RACCOON（ラクーン）」
株式会社アトックス

自働化コンテナターミナルシステム
株式会社豊田自動織機／飛島コンテナ埠頭株式会社／
住友重機械搬送システム株式会社
（旧社名　三菱重工マシナリーテクノロジー株式会社搬送システム事業部）

ロボットビジネス・社会実装部門

物流現場の自動化を実現する
「医薬品物流センター高度化ロボットシステム」
東邦薬品株式会社／日本電気株式会社／
株式会社ダイフク／株式会社 安川電機

すべての受賞ロボット等はウェブページにてご覧いただけます!

共催：経済産業省（幹事）、一般社団法人 日本機械工業連合会（幹事）
総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省

RING!RING! プロジェクト 競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助を受けて実施しています。
http://ringring-keirin.jp

協力：（独）中小企業基盤整備機構、（国研）科学技術振興機構、（国研）産業技術総合研究所、（国研）情報通信研究機構、（国研）新エネルギー・産業技術総合開発機構、（国研）森林総合研究所、（国研）水産研究・教育機構、（国研）日本医療研究開発機構、（国研）農業・食品産業技術総合研究機構、（公社）計測自動制御学会、（公社）自動車技術会、（公社）精密工学会、（公社）日本食品科学工学会、（公社）日本船舶海洋工学会、（公社）日本ベんとう振興協会、（公社）日本リハビリテーション医学会、（公財）テクノエイド協会、（公財）医療機器センター、（一社）i-RooBO Network Forum、（一社）映像情報メディア学会、（一社）再生医療イノベーションフォーラム、（一社）人工知能学会、（一社）電子情報通信学会、（一社）日本医療機器産業連合会、（一社）日本機械学会、（一社）日本建設機械施工協会、（一社）日本義肢装具学会、（一社）日本原子力学会、（一社）日本建設機械工業会、（一社）日本航空宇宙学会、（一社）日本コンピュータ外科学会、（一社）日本産業車両協会、（一社）日本食品機械工業会、（一社）日本人間工学会、（一社）日本農業機械化協会、（一社）日本農業機械工業会、（一社）日本包装機械工業会、（一社）日本UAS産業振興協議会、（一社）日本リハビリテーション工学協会、（一社）日本ロボット学会、（一社）日本ロボット外科学会、（一社）日本ロボット工業会、（一社）ライフサポート学会、（一社）林業機械化協会、（一財）橋梁調査会、（一財）先端建設技術センター、（福）全国社会福祉協議会、（特非）国際レスキューシステム研究機構、建設無人化施工協会、日本生活支援工学会、農業食料工学会、ロボット革命イニシアティブ協議会（※順不同、一部申請中）

第7回 ロボット大賞概要

「ロボット大賞」は、我が国のロボット技術の発展やロボット活用の拡大等を促すため、
特に優れたロボットや部品・ソフトウェア、それらの先進的な活用や
研究開発、人材育成の取組などを表彰する制度です。

表彰位

第7回 ロボット大賞
全応募のうちそれぞれの大臣が行う政策上の観点から、最も優秀であると認められるロボット等

経済産業大臣賞／新設 総務大臣賞／新設 文部科学大臣賞
新設 厚生労働大臣賞／新設 農林水産大臣賞／新設 国土交通大臣賞

中小・ベンチャー企業賞（中小企業庁長官賞）
中小企業及びベンチャーからの応募のうち特に優秀であると認められるロボット等

日本機械工業連合会会長賞
ロボット産業の振興において特に優れたロボット等

優秀賞（複数）
各部門及び各分野において特に優秀であると認められるロボット等

部門

ビジネス・社会実装部門	ロボットに関連するビジネス、各分野におけるロボットの利活用又はシステムインテグレーション
ロボット・システム部門	実用に供しているロボット・システム
要素技術部門	ロボットの一部を構成する部品、材料又はソフトウェア、その他のロボットの要素技術
研究開発部門	ロボットに関連する特に将来性のある研究開発の成果
人材育成部門	ロボット分野における人材を育成するための取組又は教材等

分野

- ものづくり分野
- サービス分野
- 介護・医療分野
- インフラ・災害対応・建設分野
- 農林水産業・食品産業分野

応募方法

公式ウェブページから応募エントリー
↓
応募用紙をダウンロードし必要事項を記入
↓
応募用紙とロボットの動作が確認できる動画データ等の資料を郵送
↓
応募完了

募集期間 2016年4月28日(木)～6月30日(木) ※30日(木)必着

公式ウェブページ URL: http://www.robotaward.jp/

送付先
〒103-8548
東京都中央区日本橋小網町14-1
住生日本橋小網町ビル3F
「第7回 ロボット大賞」事務局 宛
TEL:03-5644-7298
FAX:03-5641-8321
E-MAIL:info@robotaward.jp

最新情報は公式ウェブをご覧下さい
ロボット大賞 検索

「第7回 ロボット大賞」では、研究開発中のロボットやロボット導入事例など幅広く募集対象としています。
また、中小・ベンチャー企業、大学・研究機関からの積極的なご参加をお待ちしております。

News Release

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

平成 28 年 4 月 27 日

「第7回ロボット大賞」の募集を開始します！

～これまでの経済産業大臣賞に加え、5 つの大臣賞を新設しました～

経済産業省と一般社団法人日本機械工業連合会は、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省との共催により、「第 7 回ロボット大賞」を実施します。明日 4 月 28 日（木）より、その募集を開始しますので、お知らせいたします。

1. 概要

「ロボット大賞」は、ロボット技術の発展やロボット活用の拡大等を促すため、特に優れたロボット等を表彰する制度であり、平成 18 年からロボット大賞として経済産業大臣賞を交付してきました。

本年、その「ロボット大賞」の第7回を行うに当たり、新たに総務大臣賞、文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、国土交通大臣賞の 5 つの大臣賞を創設します。また、それに伴って表彰対象も大幅に拡大します。

その「第7回ロボット大賞」の募集を、4 月 28 日（木）より 6 月 30 日（木）を締切として開始します。その後、応募のあったロボット等について審査を行い、本年秋に各賞を決定、10 月 19 日（水）に東京ビッグサイトで表彰式を行います。

なお、今回の 5 大臣賞の新設と表彰対象の拡大は、「ロボット新戦略」（平成 27 年 2 月 10 日 日本経済再生本部決定）に掲げられた「ロボット大賞の拡充」（第 2 部第 1 章第 7 節）に基づき実施するものです。

2. 募集

「第 7 回ロボット大賞」では、4 月 28 日（木）から 6 月 30 日（木）までの間、次の 5 部門・5 分野を表彰対象として募集します。

＜部門＞

（A）ビジネス・社会実装部門
　ロボットに関連するビジネス、各分野におけるロボットの利活用又はシステムインテグレーション

（B）ロボット・システム部門
　実用に供しているロボット・システム

（C）要素技術部門
　ロボットの一部を構成する部品、材料又はソフトウェア若しくはロボットが利用する共通基盤（通信ネットワーク等）その他のロボットの要素技術

（D）研究開発部門
　ロボットに関連する特に将来性のある研究開発の成果

（E）人材育成部門
　ロボット分野における人材を育成するための取組又は教材等

＜分野＞
① ものづくり分野
② サービス分野
③ 介護・医療分野
④ インフラ・災害対応・建設分野
⑤ 農林水産業・食品産業分野

3. 表彰
応募のあったロボット等について、一次審査（書類審査）と二次審査（現地調査、プレゼンテーション審査）を行い、次の各賞の授賞対象を決定します。

（1）ロボット大賞
① 経済産業大臣賞
② 総務大臣賞
③ 文部科学大臣賞
④ 厚生労働大臣賞
⑤ 農林水産大臣賞
⑥ 国土交通大臣賞

（2）中小・ベンチャー企業賞（中小企業庁長官賞）

（3）日本機械工業連合会会長賞

（4）優秀賞

4. 事務局等
「第 7 回ロボット大賞」事務局
TEL：03-5644-7298
E-mail：info@robotaward.jp

＜公式ウェブサイト＞
http://www.robotaward.jp
※応募方法の詳細等は公式ウェブサイトを御覧ください。

5. 今後のスケジュール

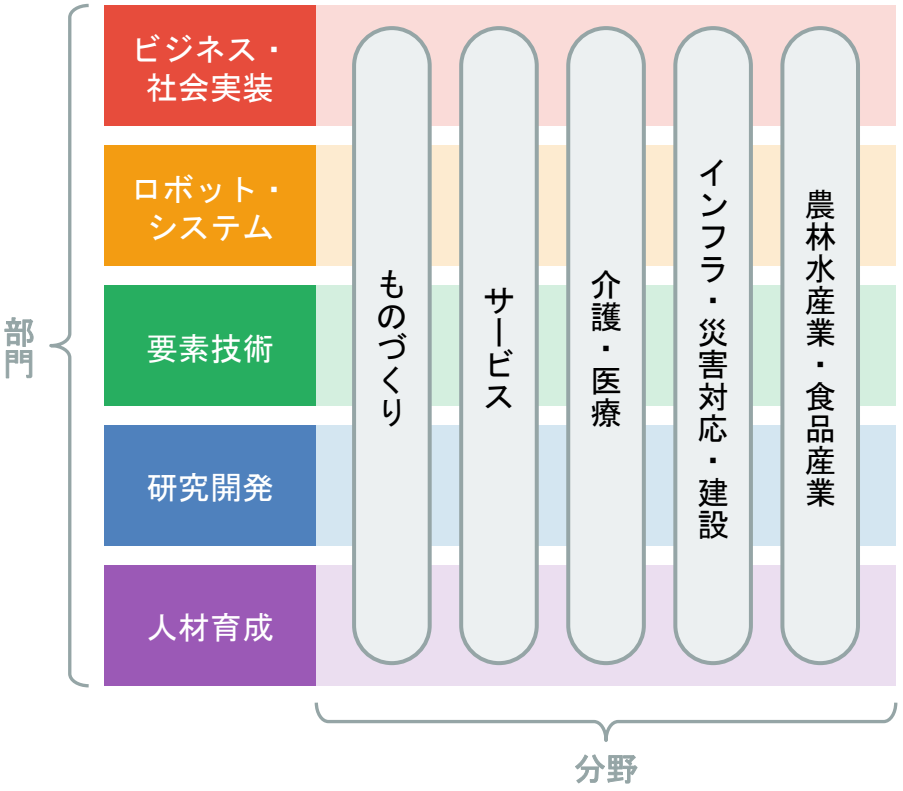
4 月 28 日(木)	応募受付開始
6 月 30 日(木)	応募締切（当日必着）
9 月下旬～10 月上旬	ロボット大賞等の決定
10 月 19 日(水)	表彰式

（本発表資料のお問い合わせ先）
製造産業局 産業機械課 ロボット政策室長 安田
担当者： 平田、牛嶋
電 話：03-3501-1511(内線 3821)
03-3501-1049（直通）
03-3501-6394（FAX）

「第７回ロボット大賞」の概要

- 「第７回ロボット大賞」の表彰対象として、５部門・５分野（「ロボット新戦略」に掲げられた５分野）について募集します。
- 応募のあったロボット等について、一次審査（書類審査）と二次審査（現地調査、プレゼンテーション審査）を行います。
- 各賞それぞれの観点に基づき授賞するロボット等について、本年秋に決定の後、10月19日(水) の表彰式において表彰します。

募集 4/28(木)～6/30(木)　　**審査** 7月～9月　　**表彰** 10/19(水)



審査運営委員会

一次審査（※１）

二次審査（※２）

（※１：書類審査）
（※２：現地調査、プレゼン審査）

ロボット大賞

- 経済産業大臣賞
- 総務大臣賞
- 文部科学大臣賞
- 厚生労働大臣賞
- 農林水産大臣賞
- 国土交通大臣賞

➢ 各大臣賞の審査の観点に基づき審査

中小・ベンチャー企業賞

- 中小企業庁長官賞

➢ 中小企業及びベンチャーからの応募のうち特に優秀であると認められるロボット等

日本機械工業連合会会長賞

➢ ロボット産業の振興において特に優れたロボット等

優秀賞

➢ 各部門・各分野において、特に優秀であると認められるロボット等

共催	経済産業省（幹事）、一般社団法人日本機械工業連合会（幹事） 総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省

第7回ロボット大賞 公式ウェブサイト ▶ http://www.robotaward.jp